

四つ葉のクローバー

発行所

桐生厚生総合病院 中央検査部

責任者 伴 聡

理念 臨床検査の質的向上と信頼性の確保

2013年 8月発行

採血管の種類について




日頃、みなさんが採血をされる時、何本もの採血管を目の前にして「えっ！こんなにとるの？」「本当に必要なの？」などと思ったことはありませんか？



血液には血球成分や蛋白成分など色々な成分が含まれていて、検査項目によって使用する採血管の種類が異なります。

血液は体の外に出て、そのままにしておくと固まってしまいます。固まってしまうと検査のできない成分を測定する採血管は抗凝固剤という血液が固まるのを抑える薬が採血管の中に入っています。

また、当院のほとんどの検査用採血管は中が陰圧になっていて、必要な量の血液を吸い込む仕組みになっている真空採血管を用いています。

当院で現在使用している採血管は20種類以上ありますが、今回はその中でも、よく使われる採血管についてご紹介いたします。

採血管	検査項目	キャップの色	採血量	薬品、分離剤	目的
	血算	紫	2ml	EDTA-2K	血液中の赤血球や白血球、血小板などの数や形態を調べる
	生化学	茶、桃(緊急)	6ml	凝固促進フィルム +分離剤	肝機能、腎機能、脂質、ホルモンなどを測定
	血糖	灰	2ml	NaF+ヘパリンNa +EDTA-2Na	血糖値やグリコヘモグロビンA1c、グリコアルブミンなどの測定

	凝固	黒	1.8ml	3.2%クエン酸Na	血液の凝固機能を測定
	アンモニア	青	2ml	EDTA-2K	血液中のアンモニアの濃度を測定
	血沈	黒ゴム	1.6ml	3.8%クエン酸Na	体の中で炎症がおきていないかどうかを調べる
	ICG*,輸血	紫	7ml	EDTA-2Na	ICG他、血液型、不規則抗体などを調べる
	輸血	茶	7ml	凝固促進フィルム	交差適合試験を行う

*ICG : indocyanine green インドシアニンググリーン試験
 肝臓の異物排泄機能検査



「四つ葉のクローバー」は当院のホームページ（インターネット）で公開しています。ご参照ください。 ホームページは <http://kosei-hospital.kiryu.gunma.jp/>